

# News Release

2019年4月1日  
三菱アルミニウム株式会社  
取締役社長 木村良彦

## 2019年度 入社式挨拶（要旨）

皆さん、ようこそ三菱アルミニウムへ！ 本日入社された皆さんを三菱アルミニウム社の社員を代表して心より歓迎いたします。 社会人として初日、晴れやかな気持ちとと思います。 私たちも新しい風を感じます。

まず品質問題についてお話しします。 誠に遺憾ながら、データの書き換えなどの不適切な行為が長年に亘り行われていたことは事実であり深く反省するとともに、関係するお客様には問題を開示し安全性の確認を行い、すべての製品について安全性に問題がないとの見解をいただいています。 そして再発防止のために様々な対策を講じています。 人的なミスを防ぐための自動システムの構築など順調に進んでおり、取り組みは多くの方から評価されています。 今回の教訓を得て、今まで以上の品質保証体制を敷いて「守り」だけでなく当社の品質で「攻め」に転じて行きます。

アルミ業界の状況について、アルミは紀元前から既に道具や装飾品として使われていた鉄や銅と比べると非常に歴史が浅く、工業製品として基礎が確立してから約 130 年位ですが、全世界での新地金生産量は約 6000 万トンに達しています。 軽量、高強度で環境負荷も少ないなど数々の優れた特性があり、まだまだ用途が広がっていくと期待されます。 製品によっては短期的に国内での需要が増えていないものもあり、よく市場をみると、より世界に目を向けていくことが重要です。 市場が魅力的であることは新規に参入する競合も増えて来て、競争は厳しさを増して行きますが、一言でいえば「やりがい」のある業界です。

次に皆さんに期待していることを 3 点お話しします。 1 点目は厳しい業界の中で勝ち抜くため、皆さん一人一人が輝いて欲しいということです。 会社には、営業、製造、開発、生産技術、経理、総務、人事等多くの職場があります。 数年後には幅広い知識と自分の分野では誰にも負けないというスキルを持って会社を引っ張って欲しいのです。 2 点目は人とのつながりを大事にして欲しいということです。 今日入社される 22 名の同期のつながりは、おそらく一生あると思います。 私自身、新入社員時代に同じ工場に配属された方々と 36 年経ってもつきあいがあります。 お互い気楽に相談できる同期を大事にして欲しいと思います。 会社内のつきあいと同様に、学生時代の友人や先生など社外のつきあいも大事にして下さい。 様々な人と接することが視野を広げてくれます。 3 点目は、遠慮せずに自分の意見を

出して、職場に刺激を与えて欲しいということです。この作業は危険ではないか？品質に問題はないか？無駄な作業をしていないか？などの気づきがあれば、それを周りに伝えて欲しい。的外れな場合もあるでしょうが、それはそれで勉強になります。問題点を指摘して、それをネガティブにとられるようでしたら、会社に問題があります。遠慮なく発言していただきたい。

最後に、昨年12月に、アメリカのアラバマ州モンゴメリーにあるグループ会社サーマレックス社に行きましたが、その町には有名な教会があります。1954年からキング牧師(マーティン・ルーサー・キング・ジュニア)が、牧師を勤められていた小さな教会です。当時まだ人種差別が残っており、ここから公民権運動が起こりました。数々の苦難を経て、1963年には、20万人を超える大規模なワシントン大行進が行われ、この集会において、キング牧師はI have a dream.という有名な演説を行いました。1964年になって公民権法が制定されています。最初はDreamであったかもしれませんが、信念をもって貫き、共感者を得て、大変革を成し遂げたわけです。この小さな教会で改めて夢を持つことの大事さを学びました。皆さんも今後長い社会人生活を送るに当たり、楽しいことばかりではありませんが、今日の日を想い、夢を大事にして有意義な人生をお送りください。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

三菱アルミニウム株式会社 総務部 (TEL:03-3769-0111)